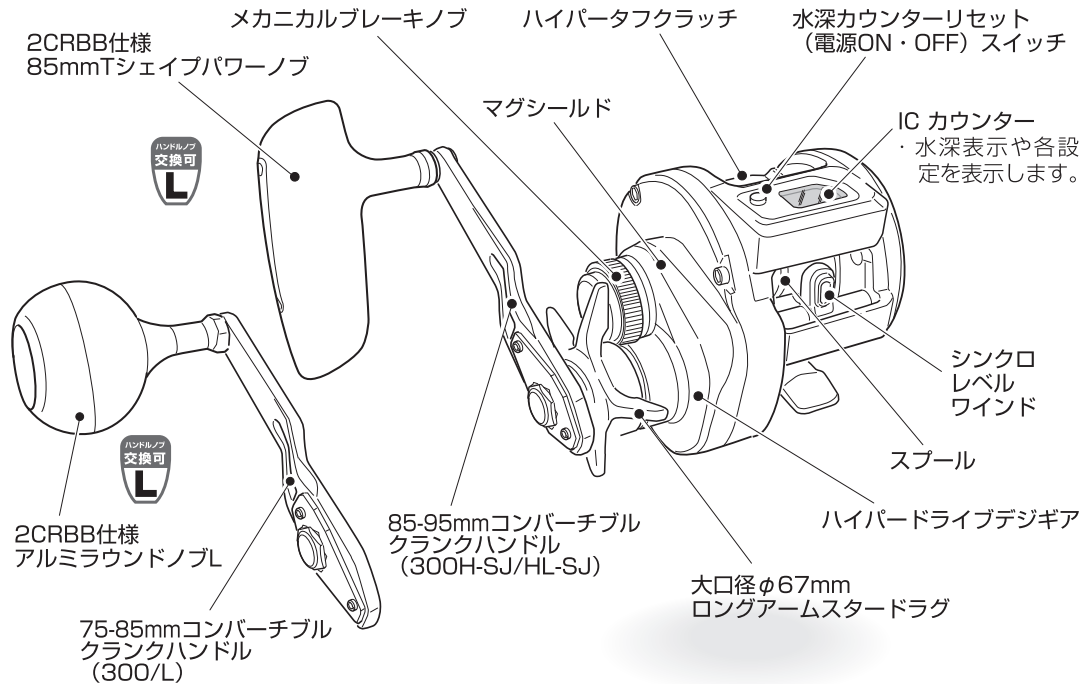


●各部の名称と操作方法

この度は、SALTIGA IC シリーズ をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は、高い基本性能が永く続くことを目指し、全ての基本性能の水準を大幅に高めた設計思想「HYPERDRIVE DESIGN」を採用しています。
このリールを正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
またリール同様この取扱説明書も大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。



●糸巻きの注意



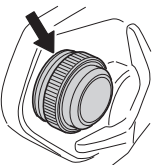
軽量スプールを採用しているため、必要以上の高いラインテンションで糸を巻くと、スプールが変形する場合がございます。ラインテンションを掛けすぎないようにご注意ください。PEラインを巻く際は、500g程度のラインテンションでの糸巻きをお薦めします。下巻きにナイロンラインをご使用される場合は、6号以上の太さをご使用ください。下巻きナイロンラインを巻く際は、ラインテンションを掛けすぎないように300g程度のラインテンションでの糸巻きをお薦めします。

●メカニカルブレーキノブ操作方法

メカニカルブレーキは、クラッチOFFでルアー（ジグ）を落下させる際、スプール回転にブレーキをかける機能です。メカニカルブレーキノブは、時計回りで締まり、反時計回りで緩みます。クラッチOFFにしてルアー（ジグ）を水中へ投入した際、糸ふけが出すぎない程度に調整してください。また、潮流の影響（二枚潮）やルアー（ジグ）を交換したときにも、同様に調整してください。また、アンダーハンドキャストで軽くキャストする際には、スプールがガタつかない範囲でメカニカルブレーキを調整してください。

△ 注意

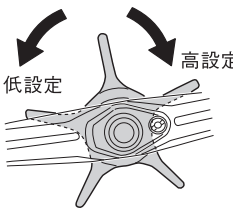
メカニカルブレーキの締めすぎ、緩めすぎにご注意ください。メカニカルブレーキノブを締め込みすぎた状態で使用すると、スプールシャフトが焼きつきを起こし、異音が発生する場合があります。また、ブレーキ力を強くしすぎると、構造上ハンドル回転に抵抗が生じます。メカニカルブレーキノブを緩めすぎた状態で使用すると、スプールのガタつきや振れが大きくなることで、スプールとフレームの間隙へラインが入り込んだり、落下スピードのダウンやノイズ発生 の恐れがあります。更にはスタードラッグとの干渉や、メカニカルブレーキノブの脱落・パーツ紛失の恐れがあります。ご注意ください。



●ドラッグ調整方法

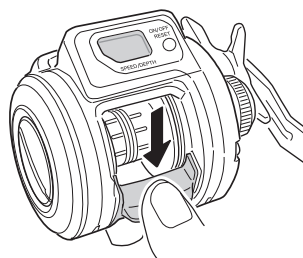
・時計回りに回せばドラッグ設定は高くなり、反時計回りに回せばドラッグ設定は低くなります。使用ライン、釣種に合わせて調整を行ってください。

※左ハンドルモデルは回転方向が逆になります。



●ハイパータフクラッチ

・幾度となく稼動するクラッチのオンオフにも耐え、作動し続ける最先端のクラッチシステム。
・親指で軽く下に押すだけで、クラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。親指でクラッチとスプールを同時に押さえることができるので、すばやく操作が行えます。
※「カチッ」と音がするまで確実に切ってください。



●安全上の注意



- ①糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて釣りをしないでください。指をはさまれて、怪我をする恐れがあります。
- ②糸が勢いよく出ている時は、糸に触れないでください。糸で指を切る恐れがあります。
- ③幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながる恐れがあります。
- ④キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、怪我をする恐れがあります。
- ⑤ハンドルとボディの間に指をはさまないよう注意してください。指をはさまれて怪我をする恐れがあります。
- ⑥糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。ヤケドや、指をはさんで怪我の原因になる恐れがあります。

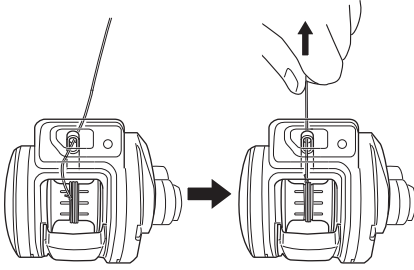
●ご使用上の注意



- ①根掛かりした時は、無理に竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。竿をあおると、竿折れの原因になります。（その際は、手袋やタオルで手を保護してください。）
- ②リールのワンウェイクラッチ部に注油しないでください。ハンドルが逆転し、手にあたり怪我をする恐れがあります。
- ③ドラッグを長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなり、ヤケドをする恐れがあります。必ずドラッグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
- ④リールを長時間収納するときは、水分を完全に切り、なるべく通気性のよい場所に保管してください。
- ⑤ドラッグ付きリールは、釣行後にドラッグを緩めて保管してください。ドラッグをキツく締めたまま保管すると、ドラッグワッシャーが潰れ、ドラッグ性能が低下する事があります。
- ⑦使用糸の径の大小、糸巻き時の釣力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻き糸量、糸巻き状態に差異が生じることがあります。
- ⑧落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ⑨本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。

●スプールに PE ライン を巻きはじめる時の結び方

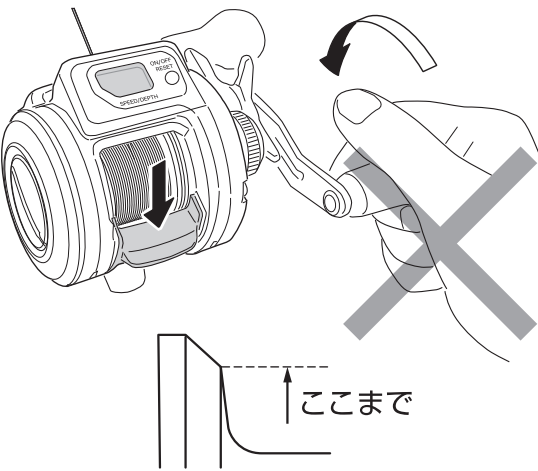
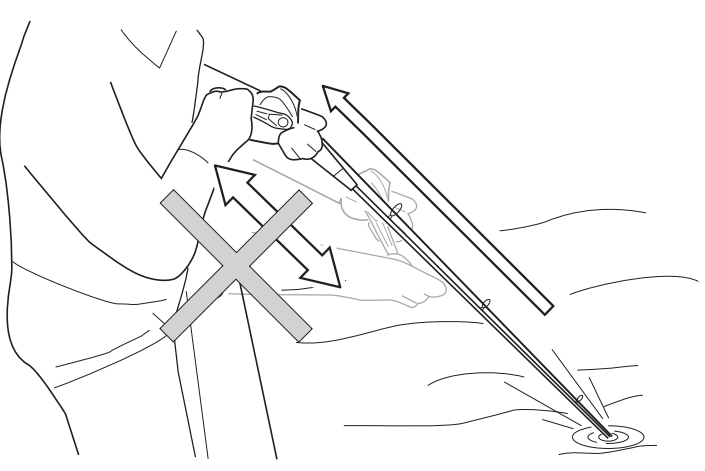
- PEライン使用に際しては、糸がスプールから空転するのを防止する為、3回から5回程、糸をスプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認した後、糸巻きを開始してください。



- ⑩本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損する恐れがあります。
- ⑪リールの回転部にはグリスや油が付いてますので、服を汚さないようにご注意ください。
- ⑫クラッチを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。（クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチ及びストッパー、ギア等の破損につながります。）
- ⑬ルアーやフームをリールに引っ掛けるのはお止めください。リールを傷つけたり、塗装がはがれたりすることがあります。
- ⑭塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐蝕する恐れがあります。水道水を糸巻き部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから保管してください。
- ⑮シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装がはがれたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手についたまま本機を扱うこともお止めください。
- ⑯弊社純正品以外の取り付けによる不具合は保障できません。また、弊社純正品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせて頂く場合がございますのであらかじめご了承ください。
- ⑰製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



- ①クラッチレバーを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。 ※クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチおよびストッパー破損につながります。
- ②オーバーヘッドでのキャストはしないでください。 ※クラッチが戻り、糸が切れる恐れがあります。
- ③スプールの着脱は内部構造が複雑なためおやめください。
- ④PEライン 1 号以下の細糸使用時に、糸巻きの偏りやバックラッシュの発生によりスプールとフレームのすきまに糸が入り込む場合がありますのでご注意ください。
- ⑤糸巻終わり径は右図の通り最大でもスプール外周面取部下端までとすることをお奨めします。糸巻き量が多すぎると、ラインのトラブルや、道糸入力時にエラーが発生する可能性があります。
- ⑥フロントカバーやフレームに糸が当たると、傷つく場合があります。糸を巻く際は、糸がリール本体に触れないようにご注意ください。
- ⑦最大ドラッグ力の範囲内での使用をおすすめします。過度なドラッグを掛けた状態での使用はリール性能を損なう恐れがありますので、ご注意ください。
- ⑧ロッドの弾性を使用しないストレートポンピングは、ギアへの負担が大きく回転低下の原因となります。
- ⑨標準糸巻き量は標準糸：UVFソルティガデュラセンサー×8+Si2+リーダー5m 程度を目安としています。巻き量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションによる異なります。



◆マグシールドボールベアリング

独自の技術により、ボールベアリングそのものをマグシールド化。磁性を持つ液体の壁によって、ボールベアリング内部への水、異物の侵入を抑えることで、ボールベアリング自体の錆、塩ガミ、異音を大幅に解消。本リールでは、ソルト使用時に一番塩ガミしやすかったピニオン部の防水、耐久性を飛躍的に向上させる為、マグシールドボールベアリングを搭載しました。



- ・マグシールドボールベアリングそのものへの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
- ・分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。



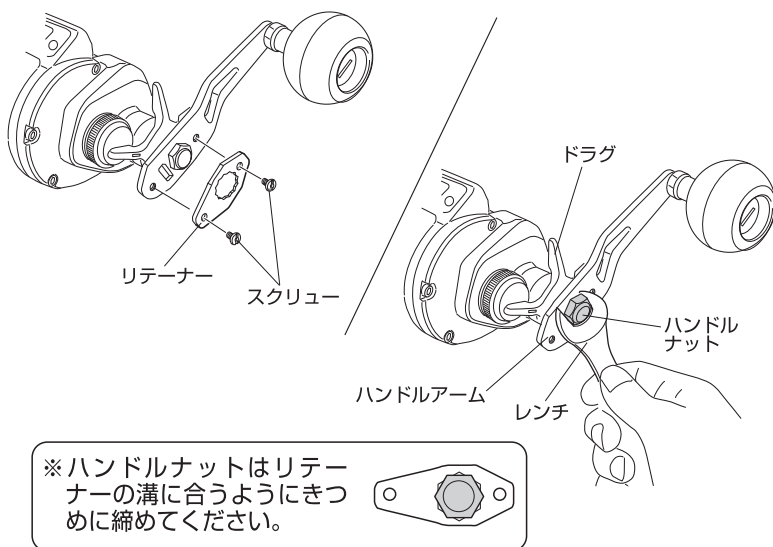
マグシールドボールベアリングの優れた防錆・防塵性能は、内部に封入された磁性を持つ液体（マグオイル）の壁により維持されています。

- ・マグオイルはやや多めに封入されている為、ボールベアリングの表面にマグオイルが滲み出ることがありますが、性能には影響ありません。（表面の滲み出たオイルは拭き取らないでください。）
- ・マグシールドボールベアリングを指や、布、綿棒等で触れたり、拭いたりすることは絶対におやめください。マグオイルが拭き取られることにより、マグシールド機能を損なう恐れがあります。

●ハンドル交換方法

（※図はアルミラウンドノブ、右ハンドルモデルです。）

- 市販のドライバーでスクリューを2カ所緩め（反時計回り）、リテーナーを外します。
- ドラッグを締め込み、市販のレンチを使い、反時計回りでハンドルナットを外します。
（左ハンドルは時計回り）
※ダイワRCSベイトキャスティングリール純正オプションハンドルには、ドライバーとレンチを兼ねた取外し用の工具が入っております。
- ハンドルを外し、ハンドル長の変更およびハンドル交換してください。
レンチを使い、ハンドルナットを取り付けます。強めに時計回りに締めてください。
（左ハンドルは反時計回り）
- リテーナーを取り付け、マイナスドライバーでスクリューを締めて（時計回り）ください。

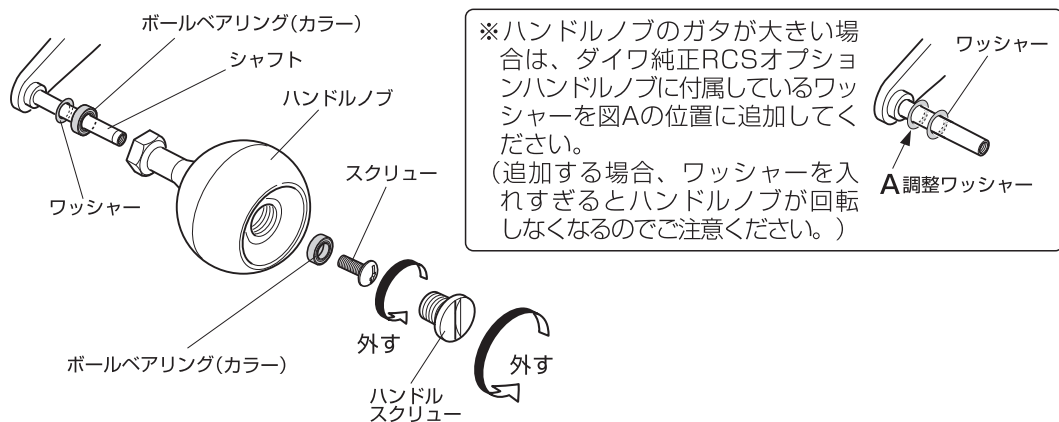


●ハンドルノブ取付方法

（※Lサイズノブと互換性があります。）

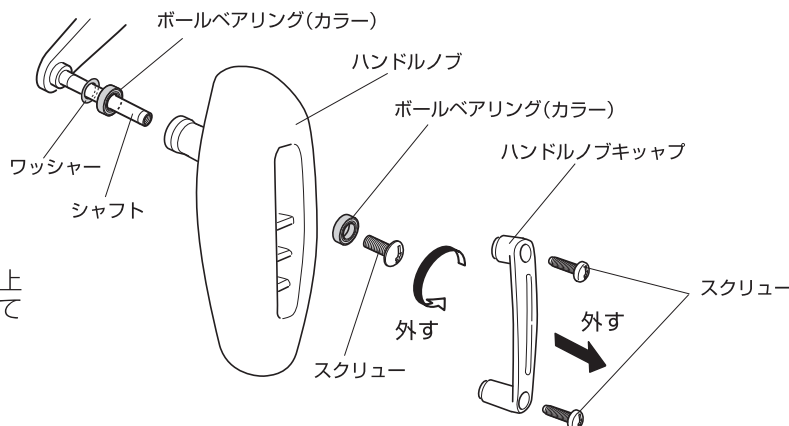
■アルミラウンドノブの場合

- 市販のマイナスドライバーやコインを使用し、ハンドルスクリューを反時計回りに回し、外します。
- 市販のプラスドライバーを使用し、スクリューを反時計回りに回し、外します。
※ノブを取り付ける際は、逆の手順で行ってください。
※アルミラウンドノブは、シャフト部とノブ部分の分解ができませんのでご注意ください。



●85mmTシェイプパワーノブの場合

- 市販のプラスドライバーで2カ所スクリューを緩め（反時計回り）、ハンドルノブキャップを外します。
- 市販のプラスドライバーを使用し、スクリューを反時計回りに回し、外します。
※ノブを取り付ける際は、逆の手順で行ってください。
※ハンドルノブのガタが大きい場合は、上記アルミラウンドノブと同様に処置してください。



●お手入れ方法

- 錆や塩分の固着によるトラブルを防止する為にも、以下の要領で、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能は低下する可能性があります。本リールを末永くお使い頂くためにも、年に1度は（株）スポーツライフブラネッツヘオーバーホールに出されることをお勧めします。（有料）

<順序>

- ①使用後には、水洗いをお勧め致します。
 - ・ドラッグを締め込んでから、シャワー等の真水で1～2分間、水洗いしてください。
 - ・特にスプールとクラッチ部分はよく水をかけて塩分を洗い流してください。
- ※リールを水没させて洗ったり、温水を使ったりするのはグリスを洗い流す可能性があるのでお止めください。
- ・洗った後は、**ハンドルやクラッチ、スプールなどの作動部を動かしながらよく水を切ってください。**

水分をタオルでふき取り、ドラッグを緩め、直射日光を避けて陰干ししてください。

- ・内部の水分が完全に乾燥するまで5日ほどかかります。陰干ししている間は、**時々ハンドルやクラッチ、スプールなど作動部を動かしてください。できれば1日1回程度、作動させる事をお勧めします。**
- ②洗った後は、以下の要領で注油を行ってください。
- ③保管の際はドラッグを緩めてください。

■注油規定

※注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。

<注意点>

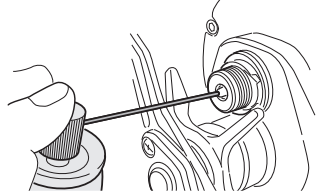
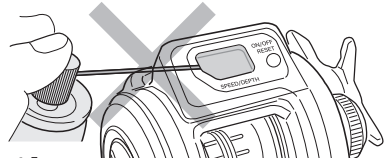
- ①使用後はリールの汚れ、ゴミをきれいに拭き取ってください。
- ②溶剤（シンナーなど）では手入れしないでください。
- ③ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なためおやめください。また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性がございます。ご注意ください。
- ④ICカウンター周辺への注油はしないでください。電装部の故障につながります。

※推奨オイル：ダイワリールガードオイル（商品コード：04980019）
ダイワリールガードグリス（商品コード：04980020）
（釣具店様にてご注文ください。）

※市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリングや内部機構部品等の耐久性を損なう恐れがありますのでおやめください。

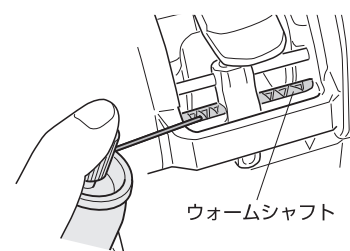
【スプール部ボールベアリングへの注油（オイル）】

- ①メカニカルブレーキノブを取り外し、内側に見えるボールベアリングに注油します。
（極少量、スプレーオイルの場合軽く一吹き程度までにしてください。）
- ※つけすぎは逆にボールベアリングの本来の回転性能を損なう恐れがあります。
- ※上記の方法で注油いただくと、ピニオンボールベアリング（マグシールド）への直接注油（注意書き禁止事項）には該当しませんので安心ください。



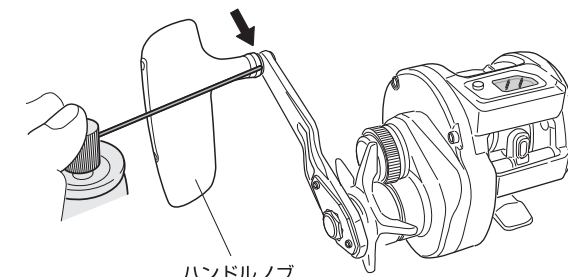
【ウォームシャフト部への注油（グリス）】

- ①図の様にウォームシャフト部へ注油します。
- ※グリスがICカウンターへ飛散しないようご注意ください。
- ※長時間ご使用になり、汚れが激しい場合は、一度オイルを吹き付け汚れを浮かしてからウエスで拭き取り、その後、グリスを注油してください。



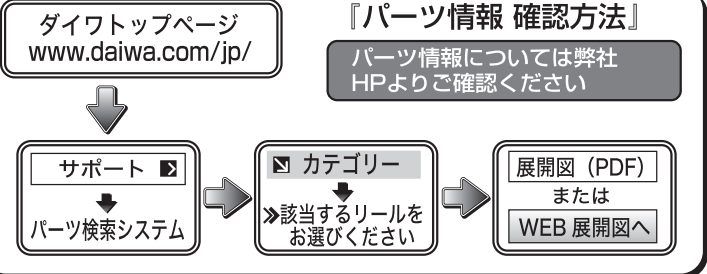
【ハンドルノブへの注油（グリス）】

- ①イラストの様にハンドルノブへ注油します。
以上の注油は必ずしも毎釣行ごとに行なう必要はありません。（数釣行に1度程度で十分です）
また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。



※ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。
※水抜き穴への注油は絶対におやめください。
※リールを長時間（数ヶ月以上）お使いにならない時は、リール作動部を時々動かす事をお勧め致します。

●展開図&部品表



●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はお買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料） 携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204 【受付時間】 9:00～17:00
（土・日・祝祭日は除く）

ホームページ上からも確認、お問い合わせできます

www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16